

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成20年11月13日

**【四半期会計期間】** 第1期第2四半期  
(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

**【会社名】** 株式会社ココカラファイン ホールディングス

**【英訳名】** cocokara fine HOLDINGS Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 塚本 厚志

**【本店の所在の場所】** 東京都大田区山王二丁目1番7号

**【電話番号】** 042(368)8701

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理本部長 鈴木 芳孝

**【最寄りの連絡場所】** 東京都府中市美好町二丁目12番2号

**【電話番号】** 042(368)8746

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理本部長 鈴木 芳孝

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社ココカラファイン ホールディングス大阪本部  
(大阪市中央区南船場二丁目7番30号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次		第1期 第2四半期 連結累計期間	第1期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日	自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日
売上高	(百万円)	80,249	40,682
経常利益	(百万円)	3,453	1,819
四半期純利益	(百万円)	1,921	1,051
純資産額	(百万円)		40,877
総資産額	(百万円)		74,327
1株当たり純資産額	(円)		2,052.59
1株当たり四半期純利益	(円)	96.47	52.82
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	(円)		
自己資本比率	(%)		55.0
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	54	
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,342	
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,472	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	(百万円)		9,245
従業員数	(名)		2,519

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。  
また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	2,519 (2,703)
---------	------------------

(注) 従業員数は、就業人員であり、従業員数の(外書)は、パートタイマー及びアルバイト(1日8時間換算)であります。

### (2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	13 (4)
---------	-----------

(注) 1 従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であります。

2 従業員数は、就業人員であり、従業員数の(外書)は、パートタイマー及びアルバイト(1日8時間換算)であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【仕入及び販売の状況】

当社グループは生産を行っておりませんので、生産実績に代えて商品仕入実績を記載しております。当第2四半期連結会計期間における仕入実績及び販売実績を商品別に示すと次のとおりであります。

#### (1) 商品仕入実績

区分	金額(百万円)
医薬品	8,692
化粧品	9,070
日常生活用品	4,902
その他	7,118
合計	29,783

(注) 1 上記金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2 その他の主な内容は、健康食品・衛生材料・医療器具・ベビー用品等であります。

#### (2) 販売実績

区分	金額(百万円)
医薬品	12,407
化粧品	13,504
日常生活用品	6,967
その他	7,282
計	40,161
卸	520
合計	40,682

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。



## 2 【経営上の重要な契約等】

### (1) 提出会社

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### (2) 連結子会社

当第2四半期連結会計期間における、経営上の重要な契約等は次のとおりです。

連結子会社名	相手先	期間	内容
セガミメディクス株式会社	株式会社ドラッグイレブン	平成20年8月29日から 平成25年8月28日まで	商品及び共同開発商品の相互供給 商品の仕入・販売及び価格等に関する情報交換 調剤薬局運営に関するノウハウの共同利用 出店に関する情報交換

## 3 【財政状態及び経営成績の分析】

### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、原油高・原材料のコスト高、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安により、企業収益の悪化が見られ景気は後退局面となりました。経済環境の変調が想定される中、小売業におきましても、ガソリンや食料品を中心とした値上げラッシュや、中国製食品への不信任、将来の不安等により、消費マインドは低下しております。

当社の属するドラッグストア業界におきましては、オーバーストア現象（商圈下、需要より供給が過剰になるほど店舗数が増加する現象）等により、価格競争が激しさを増し、厳しい状況が続いております。M & Aや資本・業務提携等の業界再編が加速される中、生き残りのため企業独自の差異化戦略が必要不可欠になってまいりました。

株式会社セイジョー（以下「セイジョー」という）とセガミメディクス株式会社（以下「セガミ」という）は平成20年4月1日に経営統合し、株式会社ココカラファインホールディングス（以下「ココカラファインHD」という）を設立、商品施策運営の統一を行なうため、セイジョー・セガミ両事業会社の仕入部門をココカラファインHDへ一本化した運営を開始、商品販売戦略の強化を推進しました。当第2四半期連結会計期間も引き続き、営業部門におきましては店舗運営・販売促進・売場提案・売価決定の手法を中心に、営業ナレッジ（ノウハウや知識）を組織的に共有し高次元化を進めることによって、営業力強化を図っております。また、管理部門におきましても会計システムを統一化したほか、人事評価・給与体系・教育等多岐にわたる将来に向けての人事関連制度の統一化、両社のシステム環境を評価し次世代に向けた情報システムの高度化を図るなど、経営管理に関わる様々な事項にも着手しております。

出退店につきましては、新規13店舗を出店し、不採算店6店舗を閉店いたしました結果、当該四半期末の店舗数は以下のとおり632店舗（内調剤取扱111店舗）となりました。

当第2四半期連結会計期間の業績は、個人消費の陰りや関東・九州における天候不順の影響を受けましたが、経営統合により地域別に互いを補完し合う効果と相俟って、売上高40,682百万円、営業利益952百万円、経常利益1,819百万円、四半期純利益1,051百万円となりました。

## 出退店状況 (単位：店)

	セイジョー	セガミ	合計
第1四半期末店舗数 (内調剤取扱)	270 (49)	355 (62)	625 (111)
出店 (内調剤取扱)	6 (-)	7 (-)	13 (-)
閉店 (内調剤取扱)	- (-)	6 (-)	6 (-)
第2四半期末店舗数 (内調剤取扱)	276 (49)	356 (62)	632 (111)

## (2) 財政状態の分析

## (資産、負債及び純資産)

当第2四半期末の総資産は、74,327百万円でしたが、そのうち流動資産は、38,573百万円、固定資産は35,754百万円となりました。これに対する当第2四半期末の負債合計は、33,449百万円でしたが、そのうち流動負債は25,232百万円、固定負債は8,217百万円となりました。

当第2四半期末の純資産は、40,877百万円で、自己資本比率は55.0%となりました。また、1株当たり純資産は2,052円59銭となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は9,245百万円となりました。当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、448百万円の減少となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が1,683百万円に対して、主な増加要因として非資金費用である減価償却費及びその他の償却費の計上が473百万円あったものの、減少要因としてたな卸資産の増加が650百万円、仕入債務の減少が863百万円あったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1,080百万円の減少となりました。

これは主として新規出店等による有形固定資産の取得による支出573百万円、敷金及び保証金の差入による支出(収入差引後)337百万円があったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、479百万円の増加となりました。

これは主として、短期借入金の増加による500百万円の収入があったものの、配当金の支払額200百万円等があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【設備の状況】

#### (1) 主要な設備の状況

提出会社

提出会社につきましては、該当事項はございません。

連結子会社

会社名	事業所名 (所在地)	事業の名称	設備の 内容	帳簿価額(百万円)					従業員数 (名)	売場面積 (㎡)
				建物及び 構築物	器具備品 及び運搬具	土地 (面積㎡)	その他	合計		
株式会社セイジョー	大蔵店 (東京都世田谷区)	医薬品等の販売	店舗	28	2	( )		30	3 [5]	367.56
株式会社セイジョー	千歳船橋駅前店 (東京都世田谷区)	医薬品等の販売	店舗	39	2	( )		42	3 [3]	193.39
株式会社セイジョー	軽井沢店 (長野県佐久郡)	医薬品等の販売	店舗	24	12	( )		36	2 [6]	735.66
株式会社セイジョー	東金上宿店 (千葉県東金市)	医薬品等の販売	店舗	26	13	( )		40	2 [5]	975.38
株式会社セイジョー	東金求名店 (千葉県東金市)	医薬品等の販売	店舗	28	10	( )		39	2 [6]	1,070.08
株式会社セイジョー	石岡中央店 (茨城県石岡市)	医薬品等の販売	店舗	24	13	( )	18	56	3 [2]	793.86
セガミメディクス 株式会社	道明寺店 (大阪府藤井寺市)	医薬品等の販売	店舗	19	7	( )	38	65	3 [4]	412.39
セガミメディクス 株式会社	ピエリー守山店 (滋賀県守山市)	医薬品等の販売	店舗	18	11	( )	22	52	3 [7]	497.09
セガミメディクス 株式会社	ラスパ御嵩店 (岐阜県可児郡 御嵩町)	医薬品等の販売	店舗	14	9	( )	21	45	2 [4]	460.00
セガミメディクス 株式会社	長瀬駅前店 (大阪府東大阪市)	医薬品等の販売	店舗	22	10	( )	12	45	3 [6]	319.40
セガミメディクス 株式会社	菊南店 (熊本県合志市)	医薬品等の販売	店舗	14	7	( )	10	32	3 [2]	476.42

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 「その他」は、建設仮勘定、無形固定資産及び差入保証金、敷金、長期前払費用であります。

3 従業員数の[ ]内は、パートタイマー及びアルバイト(8時間換算)の年間平均人数であり、外数表示しております。

#### (2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社各社の前期末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	79,687,000
計	79,687,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成20年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	19,922,156	19,922,156	東京証券取引所 (市場第一部)	
計	19,922,156	19,922,156		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成20年9月30日		19,922,156		1,000		250

(5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
齊藤 正人	東京都世田谷区	1,759	8.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(管理信託口)	東京都港区浜松町2丁目11 3	1,683	8.44
セガミ不動産株式会社	大阪市中央区南船場2丁目7 30	1,135	5.70
セガミメディクス従業員持株会	大阪市中央区南船場2丁目7 30	718	3.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8 11	704	3.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11 3	658	3.30
第一三共ヘルスケア株式会社	東京都中央区日本橋小網町1 8	583	2.92
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリュウエストックスエグゼンプテドベンションファンズ (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHART LONDON E14 5NT UK (東京都中央区日本橋3丁目11 1)	502	2.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	東京都中央区晴海1丁目8 11	456	2.29
齊藤 昭子	東京都世田谷区	414	2.08
計		8,617	43.25

(注) 当第2四半期会計期間においてダルトン・インベストメンツ・エルエルシーから平成20年9月5日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書により平成20年8月29日現在で以下の株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末における当該法人名義の実質所有株式数の確認ができておりませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
ダルトン・インベストメンツ・エルエルシー	米国カリフォルニア州90025、ロサンゼルス市ウィルシャー・ブルヴァード12424、スイート600	1,011,610	5.08



(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 6,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式19,830,700	198,302	
単元未満株式	普通株式 84,556		
発行済株式総数	19,922,156		
総株主の議決権		198,302	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式500株が含まれておりません。なお、「議決権の数」の欄には、同機構名義の議決権の数5個が含まれておりません。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式50株が含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)ココカラファイン ホールディングス	東京都大田区山王二丁目 1-7	6,900		6,900	0.0
計		6,900		6,900	0.0

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	2,420	2,305	2,520	2,355	1,981	1,700
最低(円)	1,500	1,760	2,030	1,850	1,568	1,274

(注) 株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

## 3 【役員 の 状 況】

平成20年4月1日に設立された株式会社ココカラファイン ホールディングスの役員 の 状 況 は、次  
のとおりであります。

## (1) 新任役員

役名	職名	氏名	生年月日	略歴		任期	所有株式数 (千株)
代表取締役 会長		瀬上 修	昭和17年3月31日生	昭和45年6月 昭和54年11月 昭和58年3月 平成3年1月 平成5年11月 平成20年4月	セガミメディクス株式会社入社 セガミメディクス株式会社取締役管理部長 セガミメディクス株式会社常務取締役 セガミメディクス株式会社取締役副社長 セガミメディクス株式会社代表取締役社長 (現任) 当社代表取締役会長(現任)	1年	308
代表取締役 社長		塚本 厚志	昭和37年11月4日生	昭和60年4月 平成8年12月 平成11年7月 平成13年12月 平成14年12月 平成18年5月 平成20年4月	株式会社セイジョー入社 株式会社セイジョー取締役支店部長 株式会社セイジョー取締役営業部長 株式会社セイジョー常務取締役営業本部長 株式会社セイジョー代表取締役社長 株式会社セイジョー代表取締役社長 株 式会社WINDRAGG代表取締役社長兼務 (現任) 当社代表取締役社長(現任)	1年	29
取締役	経営管理 副本部長	上田 清	昭和22年5月17日生	昭和41年3月 平成8年11月 平成11年6月 平成16年6月 平成19年4月 平成20年4月 平成20年9月	セガミメディクス株式会社入社 セガミメディクス株式会社取締役管理部長 セガミメディクス株式会社取締役管理本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役管理 本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役管理 部長 当社取締役経営管理副本部長(現任) セガミメディクス株式会社常務取締役管理 本部長 セガミメディクス株式会社専務取締役管理 本部長(現任)	1年	32
取締役	開発本部長	齊藤 正人	昭和32年1月18日生	昭和54年4月 昭和55年11月 昭和57年11月 平成9年12月 平成19年10月 平成20年4月	株式会社セイジョー入社 株式会社セイジョー監査役 株式会社セイジョー専務取締役 株式会社セイジョー取締役副社長 株式会社セイジョー取締役副社長企画開発 本部長(現任) 当社取締役開発本部長(現任)	1年	1,759
取締役	業態開発室長 兼MD推進 本部長	濱野 和夫	昭和25年9月12日生	昭和49年4月 平成2年2月 平成11年6月 平成13年6月 平成14年4月 平成16年6月 平成19年4月 平成20年4月 平成20年9月	セガミメディクス株式会社入社 セガミメディクス株式会社九州支社長 セガミメディクス株式会社取締役営業本部長 補佐 セガミメディクス株式会社取締役営業副本 部長 セガミメディクス株式会社取締役営業本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役営業 本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役事業 開発室長 当社取締役業態開発室長兼MD推進本部長、 (現任) セガミメディクス株式会社常務取締役 セガミメディクス株式会社専務取締役(現 任)	1年	22
取締役	商品本部長	橋爪 薫	昭和37年1月4日生	昭和60年4月 平成12年4月 平成12年12月 平成13年12月 平成14年12月 平成16年6月 平成18年9月 平成19年10月 平成20年4月	株式会社セイジョー入社 株式会社セイジョー営業部長 株式会社セイジョー取締役営業部支店部長 株式会社セイジョー取締役営業部長 株式会社セイジョー専務取締役営業本部長 株式会社セイジョー専務取締役商品本部長 株式会社セイジョー専務取締役営業本部長 株式会社セイジョー専務取締役営業統括本 部長(現任) 当社取締役商品本部長(現任)	1年	16

役名	職名	氏名	生年月日	略歴		任期	所有株式数 (千株)
取締役	経営企画室長	重田 陽平	昭和28年3月14日生	昭和50年4月 平成16年2月 平成16年4月 平成16年6月 平成20年4月 平成20年9月	株式会社三和銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)入行 セガミメディクス株式会社入社 セガミメディクス株式会社経営企画室長 セガミメディクス株式会社取締役経営企画室長 当社取締役経営企画室長(現任) セガミメディクス株式会社常務取締役経営企画室長(現任)	1年	0
取締役	経営管理 本部長	鈴木 芳孝	昭和25年2月12日生	昭和47年4月 平成13年2月 平成13年12月 平成13年12月 平成15年12月 平成19年10月 平成20年4月 平成20年5月	株式会社三菱銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)入行 株式会社セイジョー出向 経理部長 株式会社セイジョー入社 経理部長 株式会社セイジョー常務取締役財務・経理・法務担当 株式会社セイジョー専務取締役管理本部長 株式会社セイジョー専務取締役経営企画管理本部長 当社取締役経営管理本部長(現任) 株式会社セイジョー専務取締役経営企画管理室室長(現任)	1年	13
常勤監査役		竹本 雅俊	昭和17年3月6日生	昭和40年4月 平成2年6月 平成7年6月 平成14年6月 平成20年4月	株式会社資生堂入社 株式会社資生堂情報システム部長 株式会社資生堂監査役 セガミメディクス株式会社監査役(現任) 当社常勤監査役(現任)	4年	1
監査役		小菅 泉	昭和15年5月11日生	昭和38年4月 昭和63年10月 平成9年6月 平成15年12月 平成20年4月	株式会社三菱銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)入行 株式会社三菱銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)静岡支店長 菱友計算株式会社常務取締役 株式会社セイジョー監査役(現任) 当社監査役(現任)	4年	
監査役		関口 要蔵	昭和15年7月28日生	昭和40年4月 平成9年6月 平成11年6月 平成12年6月 平成12年10月 平成13年6月 平成16年6月 平成20年4月	コクヨ株式会社入社 コクヨ株式会社取締役店舗事業部長 コクヨ株式会社執行役員 コクヨ株式会社上席執行役員 株式会社カウネット代表取締役 コクヨ株式会社顧問 株式会社カウネット代表取締役退任 コクヨ株式会社監査役(現任) 当社監査役(現任)	4年	

- (注) 1 監査役竹本雅俊・小菅泉及び関口要蔵は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
- 2 取締役の任期は、平成20年4月1日である当社の設立日より、平成21年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 3 監査役の任期は、平成20年4月1日である当社の設立日より、平成24年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 4 当社は、法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、会社法第329条第2項に定める監査役補欠者1名を選出しております。
- 監査役補欠者の略歴は以下のとおりであります。

氏名	生年月日	略歴		任期	所有株式数 (千株)
和田 伸之	昭和17年1月16日生	昭和35年4月 平成1年6月 平成5年4月 平成7年8月 平成17年1月 平成17年12月 平成20年4月	霞ヶ関信用組合 入社 霞ヶ関信用組合 業務部長 株式会社三菱銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)支店第一部部長代理 萬興業株式会社(現 株式会社丸の内よらず)入社 萬興業株式会社(現 株式会社丸の内よらず) 定年退職 株式会社セイジョー補欠監査役(現任) 当社補欠監査役(現任)	1年	

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成20年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	8,469
売掛金	3,084
有価証券	800
商品	20,793
その他	5,431
貸倒引当金	4
流動資産合計	38,573
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	1 7,663
土地	9,039
その他(純額)	1 1,554
有形固定資産合計	18,257
無形固定資産	
のれん	426
その他	1,265
無形固定資産合計	1,691
投資その他の資産	
敷金及び保証金	13,457
その他	2,535
貸倒引当金	187
投資その他の資産合計	15,805
固定資産合計	35,754
資産合計	74,327

(単位: 百万円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成20年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	16,051
短期借入金	1,700
1年内償還予定の社債	120
未払法人税等	1,265
賞与引当金	831
ポイント引当金	753
その他	4,510
流動負債合計	25,232
固定負債	
社債	10
退職給付引当金	2,273
負ののれん	5,251
その他	682
固定負債合計	8,217
負債合計	33,449
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,000
資本剰余金	24,980
利益剰余金	14,795
自己株式	13
株主資本合計	40,763
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	114
評価・換算差額等合計	114
純資産合計	40,877
負債純資産合計	74,327

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	80,249
売上原価	57,455
売上総利益	22,793
販売費及び一般管理費	20,993
営業利益	1,799
営業外収益	
負ののれん償却額	583
その他	1,159
営業外収益合計	1,742
営業外費用	
上場関連費用	25
その他	62
営業外費用合計	88
経常利益	3,453
特別利益	
貸倒引当金戻入額	0
ゴルフ会員権売却益	0
特別利益合計	1
特別損失	
固定資産除却損	49
店舗閉鎖損失	38
賃貸借契約解約損	73
減損損失	158
過年度ポイント引当金繰入額	63
その他	9
特別損失合計	392
税金等調整前四半期純利益	3,062
法人税等	1,141
四半期純利益	1,921

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	40,682
売上原価	29,134
売上総利益	11,548
販売費及び一般管理費	10,595
営業利益	952
営業外収益	
負ののれん償却額	291
その他	614
営業外収益合計	906
営業外費用	
上場関連費用	3
その他	36
営業外費用合計	40
経常利益	1,819
特別利益	
貸倒引当金戻入額	13
特別利益合計	13
特別損失	
固定資産除却損	8
店舗閉鎖損失	18
賃貸借契約解約損	7
減損損失	114
特別損失合計	149
税金等調整前四半期純利益	1,683
法人税等	631
四半期純利益	1,051

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	3,062
減価償却費及びその他の償却費	961
減損損失	158
のれん及び負ののれん償却額	541
引当金の増減額(は減少)	114
受取利息及び受取配当金	33
支払利息	12
固定資産受贈益	124
固定資産除却損	49
店舗閉鎖損失及び賃貸借契約解約損	111
売上債権の増減額(は増加)	123
たな卸資産の増減額(は増加)	1,117
仕入債務の増減額(は減少)	1,027
その他	208
小計	1,539
利息及び配当金の受取額	18
利息の支払額	12
法人税等の支払額	1,491
営業活動によるキャッシュ・フロー	54
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	13
定期預金の払戻による収入	513
有形固定資産の取得による支出	1,056
敷金及び保証金の差入による支出	699
敷金及び保証金の回収による収入	223
その他	309
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,342
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(は減少)	500
社債の償還による支出	10
配当金の支払額	674
財務活動によるキャッシュ・フロー	184
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,472
現金及び現金同等物の期首残高	3,097
株式移転による現金及び現金同等物の増加額	7,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,245

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当社は平成20年4月1日に(株)セイジョーとセガミメディクス(株)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。四半期連結財務諸表は、第1四半期連結会計期間から作成しておりますので、「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等」を記載しております。

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
<p>1 連結の範囲に関する事項</p> <p>(1) 連結子会社の数 3社 連結子会社の名称 (株)セイジョー セガミメディクス(株) 國廣薬品(株)</p> <p>(2) 非連結子会社の名称等 非連結子会社 (株)セガミコーポレーション関西 (株)セガミコーポレーション九州 (連結の範囲から除いた理由) 非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、第2四半期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも第2四半期連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。</p>
<p>2 持分法の適用に関する事項 持分法を適用した非連結子会社及び関連会社はないため、該当事項はありません。</p>
<p>3 連結子会社の四半期連結決算日に関する事項 連結子会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。</p>
<p>4 会計処理基準に関する事項</p> <p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>有価証券 満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)</p> <p>その他有価証券 a 時価のあるもの 四半期連結決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>b 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>たな卸資産 商品 総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法) ただし、(株)セイジョーの商品(調剤薬品は除く)については、</p>

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

売価還元法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法を採用しています。

なお、耐用年数及び残存価額については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

無形固定資産

定額法を採用しています。

ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しています。

投資その他の資産(その他 長期前払費用)

定額法を採用しています。

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

ポイント引当金

ポイントカードの利用による売上値引きに備えるため、使用実績率に基づき将来利用されると見込まれる額を見積もり計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当第2四半期連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しています。

なお、数理計算上の差異については、(株)セイジョーは、各期の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(3年)による定額法により按分した額を、セガミメディクス(株)は、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定率法により按分した額をそれぞれ発生年度から費用処理しております。

また、過去勤務債務については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により処理しております。

(4) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(5) その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理について

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

のれん及び負ののれんの償却に関する事項

のれんについては、のれんの影響が及ぶ期間を考慮し、5年間または10年間の均等償却を行っております。また負ののれんについては、同様に5年間の均等償却を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
5 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

## 【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

## 【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
1 税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 ただし、見積実効税率を使用できない場合には、税引前四半期純利益に法定実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 11,398百万円

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給与手当 7,471百万円 賞与引当金繰入額 831百万円 退職給付費用 125百万円 役員退職慰労引当金繰入額 2百万円 賃借料 5,239百万円



当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給与手当	3,743百万円
賞与引当金繰入額	486百万円
退職給付費用	61百万円
賃借料	2,635百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金	8,469百万円
預入期間が3ヶ月超の定期預金	23百万円
取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資	800百万円
現金及び現金同等物	9,245百万円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	19,922,156

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	6,938

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	株セイジョー 普通株式	268	25	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金

平成20年6月27日 定時株主総会	セガミメディクス㈱ 普通株式	404	50	平成20年3月31日	平成20年6月28日	利益剰余金
----------------------	-------------------	-----	----	------------	------------	-------

- (2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

	資本金 (百万円)	資本剰余金 (百万円)	利益剰余金 (百万円)	自己株式 (百万円)	株主資本合計 (百万円)
前期末残高	3,958	4,315	13,547	0	21,820
当第2四半期連結会計期間末までの変動額					
株式移転による変動額	2,958	20,665			17,707
剰余金の配当			673		673
四半期純利益			1,921		1,921
自己株式の取得				12	12
当第2四半期連結会計期間末までの変動額合計	2,958	20,665	1,247	12	18,942
当第2四半期連結会計期間末残高	1,000	24,980	14,795	13	40,763

(注) 株式会社ココカラファイン ホールディングスは、平成20年4月1日付で株式会社セイジョーとセガミメディクス株式会社の共同持株会社として設立しております。

なお、当第2四半期連結財務諸表は、完全子会社となった株式会社セイジョーの財務諸表を引き継ぎ、期首に設立したものとみなして作成しております。

## (リース取引関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年9月30日) 及び 当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日至平成20年9月30日)				
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び四半期末残高相当額				
	有形固定資産 (器具・備品) (百万円)	有形固定資産 (車両運搬具) (百万円)	無形固定資産 (ソフトウェア) (百万円)	合計 (百万円)
取得価額相当額	1,727	18	184	1,931
減価償却累計額相当額	847	9	80	938
減損損失累計額相当額				
四半期末残高相当額	880	9	103	993
未経過リース料四半期末残高相当額及びリース資産減損勘定四半期末残高 未経過リース料四半期末残高相当額				
	1年以内	365百万円		
	1年超	684百万円		
	合計	1,049百万円		
支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失 (四半期連結累計期間)				
	支払リース料	293百万円		
	減価償却費 相当額	269百万円		
	支払利息相当額	14百万円		
(四半期連結会計期間)				
	支払リース料	141百万円		
	減価償却費 相当額	131百万円		
	支払利息相当額	6百万円		
減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法				
・減価償却費相当額の算定方法				
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。				
・利息相当額の算定方法				
リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法 によっております。				
(減損損失について)				
リース資産に配分された減損損失はありません。				

## (有価証券関係)

有価証券につきましては、企業集団の事業の運営において重要なものではないため記載を省略しております。

## (デリバティブ取引関係)

当社グループは、デリバティブ取引を利用していないため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるドラッグストア・調剤事業の割合が、いずれも90%をこえるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。



( 1 株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)
2,052円59銭

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	96円47銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円 銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	1,921
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,921
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式の期中平均株式数(千株)	19,916

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	52円82銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円 銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	1,051
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,051
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式の期中平均株式数(千株)	19,915

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月13日

株式会社ココカラファイン ホールディングス  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中村 雅一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 嘉章 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小市 裕之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ココカラファイン ホールディングスの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ココカラファイン ホールディングス及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。